

Campus news

とっておきキャンパスライフ



広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

No. 203

JAN. 2023

| 特集 |
キャンパスアルバム 2022
スペシャル



日々のワタシ

国際英語学科4年
(山陽高等学校出身)

清水 梨花

学生生活をより充実させた、 オープンキャンパスのスタッフ



私が最近積極的に参加している活動は、オープンキャンパスのスタッフです。大学2年生の時、自身の学生生活について高校生の皆さんに話したことをきっかけに、もっと大学の魅力を伝えたい!と思い始めました。オープンキャンパススタッフとしての活動をきっかけに、大学生活について伝える機会が増え、大学紹介のパンフレットにも掲載していただきました。また、活動を通して学生

同士で関わる機会も増えました。私が4年生ということもあり、授業や就職活動について話をするのも、オープンキャンパススタッフに参加することで、学部を越えた交流が増え、学生生活がさらに充実したように感じます。アルバイトなどの経験も大切だとは思いますが、大学に通っているからこそその活動には、積極的に参加してほしいと思います。

ワタシの思い出の一枚



大学生生活一番の思い出は、「海外研修事前指導」(現在は「海外研修」)を履修し、アメリカのカリフォルニア州に約2週間滞在したことです。写真はディズニー・カリフォルニア・アドベンチャーに行った時の一枚。初めてのアメリカに圧倒され、英語の勉強のモチベーションが一層上がる機会となりました。その後は新型コロナウイルス感染症の影響で海外に行けていませんが、とても良くしてくださったホストファミリーに、またいつか会いに行きたいと思っています。

学生のリアル調査

Q 2023年に挑戦してみたいことは何ですか?



A 小説をたくさん読むこと

買ったはいいけど、読んでいない小説が家に何冊もあり、その中には実写化した映画の原作や気になる小説もあるので、早く読みたいと思います!

管理栄養学科1年
(広島井口高等学校出身) 中村 葵

A 英会話力をのばしたいです!

「海外フィールドワーク」に参加するので、英語を話せるようになって現地の方と積極的にコミュニケーションを取りたいです。

管理栄養学科1年
(安芸南高等学校出身) 丸石 華澄



A 様々なボランティアに参加したい

夏休みに子ども食堂「るうてる食堂」の調理ボランティアに参加した時、おいしそうにご飯を食べる子ども達の姿を見て、もっといろいろなボランティアに参加したいと思ったからです。

管理栄養学科1年
(海田高等学校出身) 清水 爽来

A 地域連携プロジェクトに積極的に参加したい

生活デザイン学科のフィールドワークグループに入っていますが、昨年はなかなか参加する時間を作れませんでした。今年こそは積極的に参加し、地域の方の役に立つことをしたいです。

生活デザイン学科1年
(進徳女子高等学校出身) 岡本 奈々





2022
CAMPUS
 キャンパスアルバム スペシャル
ALBUM
 special

色々なイベント&研修が復活した2022年。その様子を一挙にご紹介します!



ベトナム出身

国際英語学科GSEコース1年

Nguyen Thanh Tuyen

[グエン・タン・トゥエン]

留学のきっかけ!

私は高校時代からずっと留学がしたいと思っていましたが、その時はどの国に留学したいか、どのような勉強がしたいかまだ分かりませんでした。日本に留学していた友人がおり、よくSNSで日本での素敵な写真や出来事を載せて共有してくれました。その友人からたくさんアドバイスを貰い、日本に留学することを決めました。

留学中にやってみたいこと

私は日本でいろいろなことをやってみたいです。一番やってみたいことは旅行です。日本は観光地がたくさんあるので、各地の食べ物や文化を体験し、学びたいです。また、大学生として勉強だけではなく、学校のクラブなど様々な活動をしてみたいと思っています。友達を多く作って、楽しく大学生活を過ごしたいです。



中国出身

日本文化学科1年

王娣

[オウ・ダイ]

留学のきっかけ!

将来、日本語教師になりたいからです。広島には親戚が住んでおり、安心して留学できると思ったのも大きな理由です。日本へ留学すれば、中国に居る時よりも日本語を話す機会が増えるので、日本語も速く上達するのではないかと思います、留学を決めました。

留学中にやってみたいこと

日本文化に関する活動をたくさん体験して、様々な事を学びたいです。日本人の友達をたくさん作り、会話を通して日本語のレベルを高めます。留学中に旅行もしたいですが、一番やりたいのは教育実習です。優秀な日本語教師を目指し頑張りたいです。



アメリカ出身

2022年度後期交換留学生

Kelsey Joy Wurster

[ケルシー・ジョイ・ワースター]

留学のきっかけ!

将来、翻訳者になるため日本語を上達させたいので、日本への留学を決めました。以前から日本の文化に興味を持っており、日本の文化が礼儀正しさと清潔さを大事にしているところに非常に魅力を感じました。また、日本の音楽を聴いたり、アニメを見たりすることが好きなのも留学のきっかけです。

留学中にやってみたいこと

日本にいる間に、たくさん友達を作りたいです。日本語を上達させるためにも、友達と楽しみながら、いろいろ会話ができればと思います。また、東京と京都へ旅行したいです。東京では新宿で買い物をして、京都では美しい神社やお寺を見たいです。あとは、富士山を絶対に見たいです!



ようこそ 広島 女学院大学へ



~留学生特集~



広島女学院大学には毎年留学生が入学しています。留学生たちがどんなきっかけで留学しようと思ったのか、また、どんな大学生活を過ごしているのか聞いてみました。



ベトナム出身

日本文化学科1年

Hoang Thi Hanh Nguyen

[ホアン・ティ・ハン・グエン]

留学のきっかけ!

私は子どもの頃から、日本の漫画とアニメをよく見ており、日本には馴染みがありました。ベトナムにはない桜や、もみじの綺麗な自然の景色や美しさを見て、日本の文化により興味を持つようになりました。高校を卒業したら、新しいことにも挑戦したかったので、思い切って日本に留学を決めました。

留学中にやってみたいこと

大学では、日本文学・言語学などを通して、「読む・書く・聞く・話す」といった、言語の基礎力を高めていきたいです。また、私は日本文化と様々な海外の文化に興味があるので、大学で深く学び、体験してみたいです。そして将来、通訳者になるという夢があるので、日本語以外にも中国語と韓国語を学び、中国・韓国から来た学生とも積極的にコミュニケーションを取りたいと思います。



中国出身

2022年度後期交換留学生

朱妍

[シュケン]

留学のきっかけ!

中国の大学でも日本語を専攻しており、2年間勉強していました。中国国内にいたので、日本語でコミュニケーションをとる機会がとて少なく、レベルアップすることがなかなか難しい環境でした。留学を決める前は、日本の環境に慣れることができるか、一人で生活できるか心配で、ずっと躊躇していましたが、学生のうちに日本での生活を体験し、日本語を上達させたいと強く思ったので決心し、留学を決めました。

留学中にやってみたいこと

日本文化らしいことをやってみたいです。神社に参拝したり、祭りに参加したり、日本の綺麗な風景を見たり、日本各地の観光など、体験したいことが色々あります。広島だけでも観光スポットや名物料理が沢山あるので、厳島神社に行くなど、近い所から体験しに行きたいです。

EVENTS 02

菖蒲華祭り

あやめ はなさく まつ

6月15日(水)に自治会アイリス主催で、菖蒲華祭り(あやめはなさくまつり)を開催しました。



6月



A. 華やかなダンスを披露しているダンス部「Baby☆s」 B. 自治会アイリスと一緒に「菖蒲華祭り」を盛り上げてくださった生活デザイン学科橋崎ゼミのみなさん C. 射的屋を運営する自治会メンバーと参加している学生 D. 「ジョウガインコ釣り」のルール説明中のエスキータennis部のみなさん

国際英語学科2年
中田 愛美
(可部高等学校出身)



実行委員からひとこと。



●企画した活動の内容
 本学で初めてとなる夏祭り、「菖蒲華祭り(あやめはなさくまつり)」を開催。多くの学生にとって、このお祭りが大学に入学して以来、初の学内イベントとなりました。スパーボールすくいや、射的などの縁日コーナーに加え、クラブによるステージ発表、生活デザイン学科の学生によるファッションショーも行われました。また、夏らしさを感じてもらうため、手作りのお化け屋敷を企画運営し、行列ができるほど大人気。学生や教職員の方々が参加してくださり、本学らしさあふれる、多くの笑顔と賑わいを取り戻せたイベントとなりました。

●活動を終えて
 今までイベント企画をしたことがなかったため、当日まで様々な課題に直面しました。しかし、それらをひとつずつクリアし、懸命に準備や運営を進めたことで、笑顔あふれるお祭りになりました。

今回のイベントを通して、周りの人とひとつのものを作り上げる難しさや、多様な視点から物事を考える大切さを学ぶことができました。そして、学年の壁をこえて参加している学生が、楽しそうに教職員の方々と交流している姿を見て、改めて開催して良かったと実感。自分自身も成長させることができましたと感じています。

EVENTS 07

クラブウイーク楽しみん祭 2022

4月7日(木)と13日(水)に自治会アイリス主催で新入生を対象とした、部活・サークル勧誘イベントを開催しました。

4月



A. クラブウイーク開催時の風景 B. 各クラブに興味を持ってもらうために、ポスターを掲示 C. だんだんと新入生が集まりにぎやかに D. 私たちが自治会アイリスです

管理栄養学科3年
岡本 瑞生
(祇園北高等学校出身)



実行委員からひとこと。

●企画した活動の内容
 クラブウイークは、新1、2年生に各クラブがどのような活動をしているか知ってもらうためのイベントです。クラブの紹介ポスターを掲示したり、アイリスガーデンに各クラブのブースを用意したりして、活動内容などを紹介しました。これまで新型コロナウィルス感染症の影響でクラブ紹介が難しく、活動自体も満足に行えていませんでした。クラブが活動しているのかわからず、加入するタイミングを失ったという在学生の話を聞き、今後はそのような思いをする学生を減らし、皆にクラブ活動を楽しんでもらいたいと思い企画しました。

●活動を終えて
 クラブウイークを通してクラブについて知ってもらいたいと思う一方、どのように運営すれば多くの学生に来てもらえるのか悩みました。1回目はクラブ紹介や場の盛り上げを上手にすることができませんでした。また、主催者であるのに周りを見ることができていなくて、後悔しました。2回目は1回目時の反省を生かし、主催者である私たちが楽しみ盛り上げることを意識しました。そのため参加者も多く、「クラブについて知ることができた」といった意見をいただくことができ、企画をして良かったと感じました。

EVENTS 04

海外研修 in ハワイ

管理栄養学科のハワイでの海外研修が8月22日(月)から27日(土)までの6日間実施されました。研修では、ハワイ大学での講義やカフェテリアの見学を通して、日米の健康・栄養問題や管理栄養士の役割、食文化の違いなどを学びました。

8月



A. ワイキキビーチにてサンセットをバックに記念撮影。現地の方はマスクをしていますが B. スーパーマーケットでの研修
C. カフェテリアのマネージャーで管理栄養士もされている先生に質問 D. 現地の先生や学生に日本の伝統行事「節分」についてプレゼン

管理栄養学科3年
中野 夏紀
(山口県立下関南
高等学校出身)



参加者からひとこと。

「参加した研修の内容」
「韓国文化体験プログラム」では、約2週間、仁川大学校で韓国語を学びました。事前を受けた韓国語のテストをもとに、初級と中・高級に分けられたクラスでそれぞれ授業を受けました。また、文化体験として、韓国料理のチャプチェを作ったり、仁山洞で韓服を着て街を歩いたり、国立中央博物館で韓国の歴史を学ぶ機会もありました。有名な銅像や歴史的な文化財を見て回れたのが印象深かったです。そのほか、ロッテワールドに行き、韓国人バディの学生たちと一緒に行動して交流を深めました。

● 研修を終えて
プログラムに参加して、自身の韓国語スキルをさらに向上させることができましたように感じています。また、慣れない環境下で生活する中で、自分で考えてどうにかしないといけない状況が何度も訪れました。そんな時、言語の壁を恐れることなく、周りの人に尋ねて行動できたことは、成長したところだと感じています。同時に、言語を使う機会を成立させるということが、いかに大切なのか気付くことができました。これまで言語に興味を持ち、勉強してきたことが実際に役立つため、達成感を感じると共にとてもうれしく思いました。

● 参加した研修の内容
管理栄養海外フィールドワークは、ハワイでの研修を通して海外の食文化に触れ、大学での学びを深める科目です。本来は1、2年生を対象に2月に実施されますが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止と延期を余儀なくされ、今年の8月にやっと行くことができました。現地では、ハワイ大学のカフェテリア訪問やスーパーマーケット巡り、広島女学院同窓会ハワイ支部の同窓生の方との交流など、4泊6日の短い日程の中ではありましたが、多くの経験をすることができました。

● 研修を終えて
1、2年生の間、中止や延期を経験したため、本当に行くことができるのか不安でした。そのぶん、皆の研修への思いが強く、訪問したい場所や学びたいことを積極的に出し合い、とても濃密な6日間になりました。研修を通して得られた気づきは、「初めの一歩を踏み出すことができれば世界は変わる」ということです。研修に行こうと決意したこと、現地の人に積極的に話しかけようとしたこと、その一歩を踏み出したことで、自分の中の世界は大きく変わりました。この経験や思いは一生忘れることはないと思います。

EVENTS 03

海外研修 in 韓国

「ライフキャリア特別セミナー」として、8月8日(月)から19日(金)の12日間の日程で提携校「仁川大学校(韓国)」が主催する「韓国文化体験プログラム」に参加しました。

8月



A. ロッテワールドにて記念撮影 B. 韓国料理作り体験で作ったチャプチェ
C. 仁山洞に行った時に着た韓服 D. 授業で使用した教科書

国際英語学科2年
宮本 彩花
(広高等学校出身)



参加者からひとこと。

「参加した研修の内容」
「韓国文化体験プログラム」では、約2週間、仁川大学校で韓国語を学びました。事前を受けた韓国語のテストをもとに、初級と中・高級に分けられたクラスでそれぞれ授業を受けました。また、文化体験として、韓国料理のチャプチェを作ったり、仁山洞で韓服を着て街を歩いたり、国立中央博物館で韓国の歴史を学ぶ機会もありました。有名な銅像や歴史的な文化財を見て回れたのが印象深かったです。そのほか、ロッテワールドに行き、韓国人バディの学生たちと一緒に行動して交流を深めました。

● 研修を終えて
プログラムに参加して、自身の韓国語スキルをさらに向上させることができましたように感じています。また、慣れない環境下で生活する中で、自分で考えてどうにかしないといけない状況が何度も訪れました。そんな時、言語の壁を恐れることなく、周りの人に尋ねて行動できたことは、成長したところだと感じています。同時に、言語を使う機会を成立させるということが、いかに大切なのか気付くことができました。これまで言語に興味を持ち、勉強してきたことが実際に役立つため、達成感を感じると共にとてもうれしく思いました。

● 研修を終えて
プログラムに参加して、自身の韓国語スキルをさらに向上させることができましたように感じています。また、慣れない環境下で生活する中で、自分で考えてどうにかしないといけない状況が何度も訪れました。そんな時、言語の壁を恐れることなく、周りの人に尋ねて行動できたことは、成長したところだと感じています。同時に、言語を使う機会を成立させるということが、いかに大切なのか気付くことができました。これまで言語に興味を持ち、勉強してきたことが実際に役立つため、達成感を感じると共にとてもうれしく思いました。

title
Luminouse (ルミナス)

生活デザイン学科3年
古本 涼華
(広陵高等学校出身)

今回、「周りに光を照らすような存在感のあるドレス」というコンセプトで衣装制作に臨みました。ファッションショーという大きな舞台に参加し、半年間かけて制作した作品を皆様にお披露目できる喜びと楽しさを感じることができました。また、私自身衣装制作に興味があり、こうして実現でき、感慨深いものになりました。



title
My life is My art

生活デザイン学科3年
小川 愛莉
(広高等学校出身)

衣装のテーマは「My life is My art」。私自身のすべてがアートという思いを込めて、私の大好きなアイドルのような衣装を作り上げました。3年ぶりの有観客でのファッションショーで、トップバッターという緊張がありましたが、歓声や拍手、手を振ってくれる人、眩しいくらいのスポットライトに照らされ、たくさんの人に見てもらえるという喜びと達成感でいっぱいでした。



title
Beaute (ブーテ)

生活デザイン学科3年
宮本 菜緒
(美鈴が丘高等学校出身)

「愛らしさ」をコンセプトに制作しました。裾にフリルを付け、前部分だけ短いデザインは曲線にこだわり、綺麗に足が見えるように制作しました。半年以上前から制作を始め、時には心が折れそうになったこともありましたが、ステージに立った途端、その苦勞を一瞬で忘れるくらい楽しいランウェイで、人生において大きな経験になったと感じています。そして、改めて自分は裁縫が好きだと実感することができました。素晴らしい機会を与えて下さった皆様、わざわざ足を運んで下さった皆様に感謝申し上げます。

あやめ祭の華
ファッションショー

生活デザイン学科3・4年生によるファッションショーを3年ぶりに有観客で開催しました。



3年ぶりの開催!

EVENTS 05
あやめ祭

「あやめ祭」が3年ぶりに開催されました。今回のテーマは「遮二無二(しゃにむに)~All the way up~」
新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限される中でも
「前向きに、がむしゃらに頑張ろう」というあやめ祭実行委員会の熱い思いが込められています。

11月



A. 小雨が降る中、フォークソング部によるライブ B. オリジナルうちわで応援
C. 呼び込みにも熱が入ります D. ダンスの練習中

自治会アイリス
プレゼンツ
おばけ屋敷

自治会アイリス主催で、お化け屋敷「ZOMBIE HAZARD(ゾンビハザード)」をソフィア2号館で開催しました。



山口さん

国際英語学科3年
山口 茜
(愛媛県私立済美高等学校出身)

「お化け屋敷の裏側」

●企画した活動の内容

私は自治会アイリスの一員として、あやめ祭でお化け屋敷を出店しました。夏に開催したお化け屋敷が好評だったため、今回はそれを上回るような高いクオリティを目指し、「株式会社怖がらせ隊」というお化け屋敷プロデュース業者に協力していただきました。ストーリー設定や教室の演出、演技指導、メイクまでしていただき、当日はリアリティのある本格的なお化け屋敷を作り上げることができました。

●活動を終えて

大学祭自体が入学して3年目で初めての経験でした。そのような中で、企業の方と協同することに初めは不安もありました。しかし、会長と副会長を中心に事前の計画を入念に準備して臨んだことで、予想以上にスムーズに開催することができました。私はお化け役として参加し、業者の方からは、「お化け役の人、一番は楽しんでやってほしい」ということを直前に言っていたことができました。はじめは恥ずかしさがありましたが、後半になると心から楽しんで演じることができました。恒例企画となるように今後期待したいです。

日本文化学科3年
横尾 百香
(岡山県私立就実高等学校出身)



実行委員からひとこと。

●活動の内容

私たちがあやめ祭実行委員は、半年以上かけて大学祭の企画運営を学生主体で行っています。学科・学年の異なる仲間や他大学の実行委員と交流を深めて、協力しながら大学祭を創り上げます。学生のみなさん、地域の方や企業の方と関わる経験を通して成長できるのも魅力のひとつです。そして、第73回あやめ祭が11月13日(日)に開催されました。今年のテーマは「遮二無二~All the way up~」です。訪れてくださった方々にとって「前を向いて頑張ろう」と思っさっかけのひとつになつてほしいという願いが込められています。

●活動を終えて

個々の活躍が全体の成長につながる実感しました。今年の開催は3年ぶり、二度もあやめ祭を経験したことが、0からのスタートでした。それでも「分らないからこそ新しいものが生み出せる」と信じて、試行錯誤しながら準備を重ねました。その中で私が意識していたのが、全員の個性を把握することです。指示や声掛けを行う中で、個々のやる気や、生き活きた表情を引き出すことに注力しました。また、委員長として求められている事を把握し、臨機応変に対応しながら、それぞれが全力を尽くせる環境作りを努めました。その結果、学科や学年の壁を越えた強い団結力を生むことができました。当日は、想定来場者数をはるかに超える大盛況で、多くの笑顔や「楽しかった」の声をいただきました。仲間と励まし合って乗り越えた期間と、周りの方々の温かい言葉や応援があったからこそです。関わってくださった方全員に心から感謝しています。

プロのメイクで迫力満点!ゾンビ役のみなさん

ハロウィンフェスタ

～みんなでコスプレ大集合～

10月28日に初めての企画となる「ハロウィンフェスタ～みんなでコスプレ大集合～」が開催されました。

当日は、学生はもちろん教職員も思い思いのコスチュームを着て、一日を過ごしました。仮装したまま、学生は授業に出席し、先生方は講義を、職員は業務を行いました。昼休みには、仮装した教職員がパレードを行い、お菓子を配りました。パレード中には、「トリックオアトリート!!」の音が響き、普段見られない姿の先生や職員の様子を写真に撮る楽しそうな学生の姿が見られました。初めての試みでしたが、学生や先生方のたくさんの笑顔で、大盛況のイベントとなりました。

10月28日(金)



クリスマスツリー点火音楽礼拝

11月28日

アドヴェント(待降節)に合わせ、学生、教職員、牛田地域の方約50名の参加者が集い、開催されました。

夕空の中、澤村宗教委員長による聖書の朗読に始まり、聖歌隊の合唱が学内に響き渡りました。キャンドルを持った参加者みんなでカウントダウンの後、チャペル横のクリスマスツリーの電飾が点灯し、一気にクリスマスの雰囲気になりました。この日から学内のあちこちで、クリスマスの装飾が行われています。

11月28日(月)



手作り屋台を制作しました!

生活デザイン学科の学生が手作り屋台を制作しました! 3つのグループに分かれて、先生の指導の下、設計から施工まですべての工程を学生達が行い、とても素敵な屋台が出来上がりました。これからこの屋台を活用できるイベントを計画していきます。みなさんからの活用方法も大募集します!

8月3日(水)



第4回オープンキャンパス開催

8月21日に第4回オープンキャンパスが開催されました。この回は、通常のオープンキャンパスに加えてクラブ所属の学生にも参加してもらい、6月に行った「菖蒲華祭り(あやめはなさくまつり)」を再現しました。来場してくれた高校生には、射的や、金魚釣りならぬ、本学マスコットキャラクターの「ジョガクインコちゃん釣り」などの縁日コーナーを楽しんでもらったり、エスキーツラケットを使用したストラックアウト、シーグラスを使用したアクセサリー作りなど、クラブ活動に関連した催し物を体験してもらいました。高校生と学生が楽しそうに話している姿がとても印象的で、広島女学院大学の魅力を高校生に知ってもらえた良いイベントとなりました。

8月21日(日)



7～12月の出来事

- 7/17(日) 第2回オープンキャンパス
- 7/31(日) 第3回オープンキャンパス
- 8/6(土) 広島女学院平和祈念式典
- 8/21(日) 第4回オープンキャンパス
- 9/20(火)・21(水) 後期オリエンテーション
- 9/22(木) 後期授業開始
- 9/28(水) 秋季卒業証書・学位記授与式
- 10/1(土) 創立136周年記念日
- 10/4(火) 創立136周年記念礼拝
- 10/10(日) 秋季宗教強調週間(～10/14)
- 11/13(日) 第73回あやめ祭
- 11/28(月) クリスマスツリー点火音楽礼拝
- 12/11(日) クリスマスオープンキャンパス
- 12/14(水) 自治会学生大会クリスマスパーティー

海外研修 in ベトナム ミニレポート

国際英語学科GSEコース1年 (五日市高等学校出身)

山岸 有莉亜



Global Studies in English (GSE) コースの1年生がベトナムにて「Global Village Field Experience (GVFE)」のフィールドワークを行いました。



日程/8月9日(火)～8月27日(土)

GVFEとは環境や社会問題を学び実際に体験するという授業です。この度の研修の最終目的はGo-Coという村が発展できるようなプロジェクトを地域の人と一緒に作り上げることです。授業や現地での研修で鍛え、学んできた観察力やインタビュー方法を応用し、プロジェクトを作ることができました。

研修の初めにアメリカ人の学生とディスカッションを行ったとき、彼らが村の発展のために「観光」という視点だけではなく、「環境」や「経済」なども重視していたことに驚き、自分の視野の狭さに悔しさを覚えました。しかし、一緒に行動し、地域の人々にインタビューをしていくうちにたくさんの事を学び、新しい知識が増えていくことで自信が付き、とても良い経験になりました。

1. 人文学部日本文化学科4年生の須澤麻衣さん ミスユニバーシティ2022 日本大会に出場

女学院
News



人文学部日本文化学科4年生の須澤麻衣さん(山陽女学園高等部出身)が、2022年度ミスユニバーシティ広島代表に選ばれ、9月26日に東京で行われた日本大会に出場しました。残念ながらグランプリは逃しましたが、広島代表として楽しんで参加してきたようでした。今後の益々の活躍を期待しています!

2. 教職員による「ゴスペルプロジェクト」が発足しました

管理栄養学科
石長孝二郎教授
よりコメントを
頂きました!

“ゴスペルプロジェクト”それは何ですか?と聞かれたら、それは“祈り”です。宗教は私の中では“祈り”です。親が子の幸せを願う祈り、子が親の健康を願う祈り、教員が学生の困難を乗り越える力を信じる祈りです。ゴスペルプロジェクトはそんな祈りの中から生まれました。少子化による大学運営が困難な中で、私は“女学院らしさ”とは何ですか?とチャペルで祈りました。創立者の砂本貞吉先生の祈りは? N.B.ゲーンズ先生の祈りは? 女学院の建学の精神を支えてきた方々の祈りは? そんな折、ふとした夜に私に“ゴスペル”が降りてきて、心が“ゴスペル”でいっぱいになりました。興奮を抑えきれず、翌朝に宗教委員長の水村先生にご相談し、大学オルガニストの玉理先生の支援、学生聖歌隊や賛同を頂いた教職員の魂が集まり、“ゴスペルプロジェクト”が産声を上げました。今後、高校教員から女学院の特徴は何ですか?と聞かれたら、“ゴスペルプロジェクト”を聞けば女学院の奥深さがわかりますと言えるように皆様と一緒に育てたいと思っています。



3. ゲーンズ学術奨励賞受賞者決定

ゲーンズ学術奨励賞は、校母ゲーンズ先生の遺徳を偲び制定された賞です。4年生の中で、建学の精神をよく理解・体得し、本分である学術研究に精励して、学生の模範となっている学生各学科1名ずつに授与します。2022年度の受賞者は、次の5名です。

国際英語学科
平田 美月

日本文化学科
岡本 安未可

生活デザイン学科
久保田 紗羅

管理栄養学科
廳 有里

児童教育学科
山口 友菜



自分たちで準備したクリスマスコンサート。皆に楽しんでもらうことができました

ゼミ
—ファイル—
File 3

カプスの基本のリズムを習い、自分たちでリズムを考えて演奏している様子

児童教育学科

森保ゼミ

手遊び歌やダンスなど幅広い音楽分野を実践。教育方法に関する理論を知り、研究する。

オープンキャンパスの学科説明の際に、高校生と手遊びなどをして触れ合いました



身体で表現する大切さに気づき リトミックを研究テーマに

児童教育学科4年
金光 優季
(山口県徳島学園聖光高等学校出身)

私は現在、保育現場におけるリトミックの実践について研究しています。この研究テーマにしようと思った理由は、小さい頃から音楽に触れる機会は多かったものの、リトミックという方法を知らなかったからです。大学1年生でリトミックを実際に体験して、身体で表現する大切さに気づきました。保育現場でもリトミックの活動を取り入れることが望ましいと考えるようになり、この研究テーマを設定しました。リトミックが創案された20世紀初頭から現代までの歴史を概観し、日本の保育現場について調べています。

今、どんな研究をしていますか?

私は幼い頃から、音楽に触れる環境で育きました。大学1年生の時、音を聴きながら身体を動かして音楽を理解するリトミックを初めて体験し、「卒業論文はリトミックをテーマに書こう」と考えるようになりました。音楽や表現の授業で1年生の時からお世話になった森保先生に指導してもらいたくて、このゼミを選びました。森保ゼミでは、オープンキャンパスのスタッフとして高校生の前で手遊びなどを一緒に行ったり、クリスマスコンサートを開催したりします。たくさんの実践ができることも、このゼミを選んだ理由の一つです。

森保ゼミを選んだ理由は?

先生からひとこと。

人間生活学部児童教育学科 教授 森保 尚美

“人を幸せにする音楽の力”に興味がある人は、ぜひ森保ゼミの扉をたたいてください。

森保ゼミは、興味のある音楽分野の経験をみんなで実践することから始めます。例えば、手遊び歌、リトミック、音楽科授業、音楽劇、ダンスなど幅広い分野の経験をするのです。国内外の教育方法プログラムや保育・教育の実践者が編み出した手立ての工夫など、理論と実践の両輪で理解しながら、楽しく考察を深めていきましょう。



倉本菜穂さん作



なるほど 就活

今年度で三年目を迎える広島県中小企業家同友会と連携した**インターンシップ**に、今年度より広島修道大学の学生も加わり「地域の中小企業を知り学び合おう」と題して、インターンシッププログラムが行われました。

internship program

STEP③ 事後全体会



実習後の9月に、学びや気づきをもとに、初日同様、全体会最終日プログラムとして、広島修道大学に集まりました。普段の学び舎とは違う環境で、企業担当者や、多くの学生が集う緊張感の中、今一度「何のために働くのか」「この度の研修で何を学んだのか」「自分の課題は何か」「研修を通じてわかったこと」「今後の抱負」などについてグループ討論と、全員報告発表を行いました。企業担当者から気づきやアドバイスをいただき、他学生の発表を聞くことで、新たな知識を得ると共に、インターンシップに参加して終わるだけでなく、事前に目標を掲げ、事後に振り返りを行うことで、多くの学びを得る貴重な機会となりました。

STEP① 事前全体会



8月にインターンシッププログラムの初日プログラムとして、広島女学院大学・広島修道大学の希望者と、広島県中小企業家同友会に加盟している企業様が、広島女学院大学に集まりました。インターンシップ現場実習を前に、業界セミナーや、「何のために働くのか」「インターンシップを通じて何を学べるのか」といったグループ討論と発表を行いました。実習先企業などの中小企業の取り組みや、企業担当者との顔合わせ、インターンシップの目標について整理する機会になりました。他大学の学生と交流することでお互いに良い刺激をうけて全体会に取り組むことができ、現場実習に向かう心構えもできました。

広島修道大学

広島女学院大学

振り返りプログラム

広島県中小企業家同友会

実習へ

STEP② 実習

広島県中小企業家同友会に加盟している各企業で数日間の実習に参加し、各自目標を達成すべく課題に取り組みました。

【各企業実習期間】8月～9月

“インターンシップに参加して”

生活デザイン学科3年
河野 明理
(広島皆実高等学校出身)

インターンシップ先 | 有限会社 S-Produce

生活デザイン学科2年
東 笑子
(総合技術高等学校出身)

インターンシップを通して、コンサルティングの仕事のイメージが変わりました。コンサルティングとは、課題を抱えたクライアントから依頼を受け、課題解決のために提案をしていく仕事だと単純に思っていたのですが、クライアントのモチベーションを上げる事が最も重要な仕事だと学びました。また、良い提案づくりのために、質問力を磨き、クライアントと積極的にコミュニケーションを取ることが大切だと実感しました。



「他己紹介」のための打ち合わせ風景

人に何かを提案する時には、語彙力や表現力が重要であることをインターンシップで学びました。グループディスカッションでは、同じ言葉を繰り返し使用してしまうなど、うまく相手に伝える事ができませんでした。打ち合わせにも同席させていただきましたが、終始スムーズで、まじめな話の中でも笑顔で雑談を交える場面もあり、会話の中で信頼関係が成り立っていることに感動しました。相手に何かを伝えるには、内容を簡潔にまとめる事が重要ということがわかりました。普段から身近な人との会話を大切にし、語彙力や表現力を高めるよう心掛けていきたいです。

内定者を 囲む会

【実施月】2022年10月～12月

内定者を囲む会を実施しました。
今回は、4年生の先輩から就活のアドバイスを頂いたので、ぜひ参考にしてみてください。

内定先 | 国立大学法人愛媛大学医学部附属病院

内定者 | 管理栄養学科4年 西山 真由
(比治山女子高等学校出身)



内定先を志望した理由は、病院理念に強く共感したこと、特定機能病院で高度かつ最先端な医療に触れ様々な疾患の栄養管理に携わることができると思ったからです。面接は緊張しましたが、管理栄養士の方が笑顔で私の話を聞いてくださり、自分の思いを伝えることができました。複数の質問を受けましたが特に「学生時代に頑張ったこと」を詳しく聞かれました。ボランティア経験などがあると話せるエピソードが増えるため、後輩の皆さんは、何か経験しておくと思いいます。面接対策としては、できるだけ多く練習することが大切です。また、書類については、事前準備が重要なので、時間がかかっても自分の納得する履歴書になるように教職員の先生方に相談し、添削してもらうことをお勧めします。専門試験は病院独自のもので、より専門的な問題が多く出題されました。そのため、早い内から国家試験の問題に取り組み、基礎的な知識をつけておくことが大事です。就活と国家試験の勉強を両立するのは大変だと思いますが、頑張ってください。

内定先 | 国分西日本株式会社

内定者 | 生活デザイン学科4年 大瀬戸 光
(広島国際学院高等学校出身)



就職活動を始めた当初は「事務職土日祝日休み」を条件に、業界を絞らず活動していました。しかし、それでは志望動機が薄く、上手くいきませんでした。結果的に8月には内定をいただくことができましたが、今思えば、条件から業種を選ぶのは良く、業種の次に条件を選んだほうが良かったと感じています。自分の中で将来像を描く上で、今まで何を学び、これから何をしていきたいのか、自己分析が非常に重要です。私の場合は衣・食・住を学ぶ学科だったこともあり、食の面から社会に貢献していきたいという想いで、内定先を志望しました。また採用試験において、筆記試験対策、SPIを後回しにせず、日々少しずつでも取り組むこと、応用問題が解けるように対策すると良いと思います。面接時間は基本30分程度と短いので、悔いが残らないように、何を質問されても詰まらぬように、何度も面接練習することをお勧めします。緊張するとは思いますが、しっかり筆記対策・面接対策をすれば大丈夫だと思います。

内定先 | 株式会社 東洋シート

内定者 | 生活デザイン学科4年 杉田 亜優
(海田高等学校出身)



就職開始当初は応募する企業の業種もバラバラで、不採用の連続でした。考えてみれば、今まで私が頑張ってきたことといえばアルバイトくらいでした。資格取得に時間をかけることはなく、またボランティアやサークル活動とも無縁でした。そんな学生生活を後悔する気持ちもありましたが、まずは自分の就活軸を明確にしていきました。飲食店のアルバイトで培われた配りや、後輩が質問しやすい雰囲気づくりができることなどを自分の強みにし、面接練習を何度も重ね、自分の言葉として定着させました。最終的に「ご縁をいただいた内定先は、私の就活の軸にすべてかかっており、私を一番評価して下さる企業だと感じました。後輩の皆さんには、「企業説明会は業種、業界にこだわらずできるだけ多く参加して、自分に合う業種や企業を見つけること」「自分の長所や短所を友人やアルバイト先の人に聞いてみる」「スケジュール管理を怠らないこと」「面接練習は数多く行うこと」の4点をアドバイスしたいと思います。

RELAY ESSAY

「好き」を大切に

生活デザイン学科
准教授
檜崎 久美子



「好き」との出会い

私の研究領域は服飾の歴史や美しさを探求するものです。小さな頃からお姫様に憧れて、沢山の絵本や漫画、物語や小説を読んできました。小学校から中学校にかけて読んだ『なんて素敵にジャパネスク』『氷室冴子、コバルト文庫』が「好き」との出会いとなる作品だったように思います。時は平安っぽい時代に、少しおてんばなお姫様が当時の常識を物ともせず世を騒がせる事件を解決したり、幼馴染との恋愛にモダモダしたりという内容です。読み進めながら彼女はどんな服を着ているのだろうか、どんな暮らしをしているのだろうか、と挿絵を頼りに想像していました。

その後も、源氏物語や竹取物語、とりかえばや物語など、古典というよりはそれを現代語訳したものや漫画化したもの（源氏物語は『あさきゆめみし』（大和和紀、講談社）が大好きでした。）にたづなり浸って、中学、高校時代を過ごしました。平安貴族たちの服飾を彩る色や柄、重ね着の妙がたまらなく好き



「好き」の力

とはいえ、卒業論文はお嬢様の服飾について研究をさせてもらい、まだまだ学び足りない！と後先考えず大学院に進学し、研究会に入って色々な先生や仲間たちと服飾についてお話をしました。こう見えてとても恥ずかしがりが屋敷私ですが、好きなことをテーマにすると、初めて会う人とも気負いなく話ができました。「好き」の力って偉大だなあと改めて思います。

そして、今、生活デザイン学科の学生さんと「HJU」のブランド「リメイクラボ」という古い着物を若者向けの商品にアップサイクルするプロジェクトを一緒にしています。この活動のきっかけは、日常で



A. 最近少しずつですが、リサイクル着物と洋服のミックスを楽しんでいます。
B. 今年の「HJU」のリメイクラボの学生さんの活動の様子です。様々な着物に触れ、新たな発見をしている現場に立ち会えるのがとても楽しいです。
C. 昨年度の「HJU」のリメイクラボで作った商品です。いろいろな柄や手触りがあり、とても素敵なデザインになりました。

着る着物も素敵だなあ、もっと知りたいなあ！と勇気を出して行ったイベントで「ひろしまきもの遊び」さんのお付き合いが始まったことからです。

着物は洋服ほどめぐるらしい流行がありませんし、色柄を自由に組み合わせ、コーディネート無限に考えられるとても創造的なファッションで、何より着なくなったら解いて布地として活用ができるというエコな存在です。この魅力を伝えることができたならとプロジェクトを立ち上げ、2021年度から学生さんに着物や和文に触れてもらい、商品提案や制作してもらっています。少しでも着物が身近な存在になればいいな、七五三や成人式のような晴れ着だけではなく、日常でも十分に楽しむことができる、素敵で着物の技術や文化を知ってもらい、「好き」を共有できる仲間が増えるといいな、と思っています。

皆さんも「好き」なものはありませんか？ その気持ちを大切に、将来や行動の選択をしてみるのもいいかもしれません。

学生時代に読んでほしい本&DVD

『作りたい女と食べたい女』

著者/ゆざきさかおみ 出版社/KADOKAWA

最近私がハマっていて、続きを楽しみにしている漫画です。私は料理を作ることも食べることもそこまで興味はない(作り方や食べ方という文化は好きだけど)のですが、それをテーマに、一人ひとりの居心地の良さや「好き」を考える漫画だな、と思って選びました。



生活デザイン学科
准教授
檜崎 久美子

リメイクラボ
Instagram

[研究領域] 服飾史学・服飾美学、家庭教育
[担当科目] 衣生活論、日本服装史、服飾美学、ファッションデザイン実習II
[趣味] ファッションやクラフト、料理の雑誌を読むこと、漫画を読んだりゲームをプレイするのも好きです。最近ではリングフィットアドベンチャーを頑張っています。

色とりどりの食材を楽しもう！
ベジフルランチ

Let's try!!

カラフル食材でハロウィン気分♪

ハロウィンの行事食として、カラフルな食材を使用した色鮮やかなランチが登場。栄養豊富な鱈が主役です。

管理栄養学科3年 小池 百花 (三原高等学校出身)
管理栄養学科3年 菅 葉菜未 (比治山女子高等学校出身)

自身魚ときのこのクリームソース

材料(4人分)

・鱈(自身魚)…320g(4切)	<きのこのクリームソース>	・バター…小さじ1と1/2	<付け合わせ>
・塩…ひとつまみ	・ぶなしめじ…20g	・薄力粉…小さじ2	・さつまいも…1/2本
・白こしょう…ひとつふり	・まいたけ…20g	・牛乳…1/2カップ強	・キャベツ…1枚
・ニンニク…小1片	・カニカマ…20g	・固形コンソメ…1/2個	
・オリーブ油…小さじ2	・うずら卵(水煮)…8個	・乾燥パセリ…少々	

作り方

- 鱈の両面に塩、白こしょうを振る。
- ぶなしめじとまいたけは食べやすい大きさに裂き、カニカマは3等分に切り、手で裂く。ニンニクは薄切りにする。
- さつまいもは1cm幅の輪切りにし、水に10分程度浸け、アク抜きをする。
- フライパンにバターを熱し、中火で②のぶなしめじ、まいたけ、カニカマを炒める。
- ④がしんなりしたら薄力粉を加える。粉っぽさがなくなったら、牛乳、コンソメを加え、とろみがつくまで火にかけて混ぜる。とろみがついたら火からおろし、うずら卵を加える。
- フライパンにオリーブ油を熱し、②のニンニクを入れ、鱈と③のさつまいもを焼く。ニンニクはお好みで、不要な場合は取り除く。
- ⑥の鱈に⑤のクリームソースをかけて、乾燥パセリを振りかける。クリームソースをかける際、うずら卵を1人2個のせるようにする。千切りしたキャベツと⑥のさつまいもをクリームソースの端に添える。

管理栄養学科の学生が考案したベジフルランチとレシピを紹介
Vege-full menu
Vol.23

メニューができるまでの経緯は？

今回のメニューは10月のベジフルランチで提供しました。ハロウィンの行事食だったので、赤・黄・緑・白・紫と色とりどりの食材を使用して作成しました。自身魚ときのこのクリームソースは鮭を予定していましたが、定期的に鮭の入手が難しくなったため、鱈を使用することになりました。ほかにも、ブロッコリーとツナのごまドレサラダで紫キャベツを使用して紫色を演出し、ミネストローネの赤色もあり、色鮮やかなメニューにすることができました。

メニューへのこだわりは？

クリームソースは白色を基調にして、きのこやカニカマを加えることで香りやうま味を出し、さらに、うずら卵でボリューム感が出るようにしました。食べた人から、「ホワイトソースとうずら卵の味の相性が良かった」との感想もいただくことができました。魚のベジフルランチは、主菜が肉のランチに比べて人気がないので、メニュー考案に苦慮しています。今回のようにソースをかけたリ、ニンニクで風味付けをして美味しく食べられるように工夫をしています。魚はEPAやDHAという脂肪酸を多く含んでいます。EPAやDHAは血液をサラサラにする働きがあり、体内では合成されないため食材から摂取する必要があります。特に青魚に多いので、色々な魚を食べるようにしましょう。今後も、皆さんに喜んでいただけるような、美味しいメニューを作っていきたいです。

ミネストローネ

材料(4人分)

・じゃがいも…中1個	・水…1カップ
・人参…1/6本	・固形コンソメ…1個
・玉ねぎ…中1/4個	・塩…ひとつまみ
・キャベツ…1枚	・こしょう…ひとつふり
・ニンニク…1/2片	
・油…小さじ2	
・ホールトマト缶…1カップ	

作り方

- じゃがいも、人参、玉ねぎ、キャベツは1cm角に切る。
- 鍋にニンニク、油を入れて熱し、香りが出たら①の人参、玉ねぎを加えて炒める。
- 野菜がしんなりしたら、ホールトマトをつぶしながら加え、水、コンソメを入れて煮る。
- じゃがいも、キャベツを加えてさらに煮込み、塩、こしょうで味を調える。

『あやめ祭実行委員会』



私たちあやめ祭実行委員は、あやめ祭(大学祭)の主催・運営をしています。11月の開催に向けて、企画決めから交渉、準備まですべて学生主体で行っています！学科関係なくみんなで一緒に活動していくので、先輩や友達と仲良くなれるのも魅力です。イベント、企画、庶務、広報、幹部と分かれてそれぞれの仕事に打ち込んでいます。準備期間には、1・2・3年生全員で集まり、会場の装飾や、当日の運営について打ち合わせを重ねていきます。コロナ前まではあやめ祭の前日から学校に泊まり、先輩、後輩と仲を深める思い出づくりにもなっていました。忙しいですが、とてもやりがいがあり、達成感があります！他大学との交流や季節ごとの楽しいイベントもありますよー！興味のある方はぜひ、あやめ祭実行委員に加入してください！

児童教育学科3年 畝田 美夏(熊野高等学校出身)

キャンパスニュースリポーター募集！

私たちと一緒に『Campus news』を作りませんか？



広島女学院大学はどんな大学なのか、どんな人がいるのか一緒に探ってみませんか？活動内容は、教職員や学生への取材、写真撮影など。学生時代の貴重な体験、思い出になること間違いなし！見たことや聞いたこと、体験したことを記事にして記者気分も味わえます。学部や学科は問いません。少しでも興味があれば、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、「誌面に登場したい！私を取材して欲しい！」なんて方も同時に募集中です。

問い合わせ先

総合学生支援センター学生課
tel.082-228-0407
学生課アドレス
gakusei@gaines.hju.ac.jp

編集後記

今年度は、3年ぶりのあやめ祭をはじめ、様々な行事を開催することができました。初めての試みとなる夏祭りや、ハロウィンフェスタなど、久しぶりに学内に賑やかな雰囲気に戻ってきました。コロナ禍で制限のある中、学生達が試行錯誤しながら計画から当日の運営まで行い、どのイベントも大盛況でした。また、海外研修や交換留学も再開し、少しずつですが、ようやく本来の大学の姿を取り戻せました。次号もお楽しみに！(学生課O)

Campus Calendar

1月

- 10(火) 学生臨時休校
- 11(水) 授業開始
- 13(金) 学生登校不可期間(大学共通テストのため) (~1/15)
- 20(金) 修論提出締切(12時) ※大学院
- 26(木) 補講 (~1/28)
- 30(月) 月曜日最終授業
- 31(火) 補講

2月

- 1(水) 学生登校不可期間(本学入試のため) (~2/5)
- 6(月) 補講 (~2/8)
- 14(火) [卒業学年]不合格者・再試対象者発表(10時)
再試手続期間 (~2/16 12時)
- 17(金)・18(土) 再(卒)試験

3月

- 1(水) 卒業認定者公示(16時)
- 10(金) 教免・学芸員・栄養臨地実習許可者発表(10時)
- 14(火) 卒業礼拝/卒業証書・学位記授与式リハーサル/ゲーンズ墓前礼拝
- 15(水) 卒業証書・学位記授与式(学部)/学位記授与式(大学院)
- 16(木) 春季休業 (~3/31)
- 21(火・祝) 春のオープンキャンパス

※スケジュールは変更になる場合があります。



広島女学院大学
オリジナルキャラクター
ジョガクインコちゃん

